

医学研究センター

共同利用施設運営部門

米谷 新
(部門長)

共同利用施設運営部門は、旧共同研究推進部門より改組され、本年度4月1日より活動がスタートしました。本学における研究の遂行を支援するための学内の共同利用の研究施設が、本学における臨床及び基礎医学研究の推進・発展の基盤的役割を果たすことができるよう種々のマネジメントを行っています。これから、徐々に検討を進めなければなりません。現状毛呂山キャンパスの中央研究施設と川越キャンパスの総合医療センター・研究部がコアとなって役割を果たしています。また、当該運営部門においては、日々の施設の業務そのものが部門の活動に相当量直結しておりますので、業務の共通事項を抽出し統括してゆくことが大切になるものと思われ、研究支援業務にもキャンパスを跨いだ広がりを持つことも可能であると思われます。

【本年度の活動】

- ① スタートしたばかりであるため、まず、学内への共同利用施設の網羅的な情報発信を行うために共同利用施設と共同利用施設運営部門を統括したホームページを作成し、公開いたしました (<http://smswww/kyouri/>)。今後、毛呂山キャンパス・中央研究施設と川越キャンパス・研究部における各部門の情報等をホームページに掲載、充実させて行く予定です。
- ② 4月24日総合医療センター研究部の各施設を松下祥医学研究センター長と坂本安共同利用施設運営部門長代理が訪問させていただき、田丸淳一研究部長、森隆研究部准教授と共に意見交換等を行いました。
- ③ 毛呂山キャンパス・中央研究施設実験動物部門において、一階洗浄滅菌室作業環境が高温多湿であるため職員の作業中の熱中症等が危惧されたため、松下祥医学研究センター長ならびに産業医・東丈裕先生、今井康雄先生のご尽力を得て空調設備の改善に関する要望書を提出し、ご検討頂いております。
- ④ 10月17日に行われた中央研究施設運営委員会において、施設内も含め廊下に各種のボンベが固定されずに放置されていることが問題視され、産業医の東丈裕先生からも同様の指摘があったため、その改善に関して検討しました。

【研究機器の整備等】

- ① 昨年より、要望のあった実験小動物用光イメージング装置（毛呂山キャンパス・実験動物部門設置予定）ならびに電子顕微鏡システム（毛呂山キャンパス・形態部門設置予定）を、平成22年度・私立大学研究設備整備計画申請に提出し両者とも採択された。

【テクニカルセミナーの開催】

- ① 2010/06/30 16:00～17:30：表面プラズモン共鳴装置 Compact SPR Sensor SPR02 のテクニカルセミナー
- ② 2010/05/18 10:00～17:00：デモ機；(VisEn FMT 2500LX：プライムテック) による画像解析
- ③ 2010/05/14 13:00～16:30：走査電子顕微鏡 S-4800 使用説明会
- ④ 2010/05/11 13:00～16:30：走査形電子顕微鏡 TM1000S 使用説明会
- ⑤ 2010/04/05 16:00～：デモ機 (Lumazone：日本ローパー) による画像解析
- ⑥ 2010/03/12 16:00～：デモ機 (Clairvivo OPT: 島津製作所) による画像解析セミナー
- ⑦ 2010/02/24 16:00～17:00：マイクロプレートリーダーセミナー
- ⑧ 2010/01/14 16:00～17:00：生体中金属元素イメージングの医学への応用

【共同研究の啓蒙活動等】

2010/03/31 16:00～18:30 毛呂山キャンパス 本部棟2階会議室にて；
東洋大学 Bio-Nano Electronics Research Center において医学分野へ応用可能な研究成果があり、その内容を

埼玉医大研究者に紹介し意見交換を行う目的で合同セミナーを開催したいとの提案が有り，企画されました．最先端の磁性体ナノ粒子研究を含め多彩なナノ分野の研究が推進される中，両校の共同研究推進により磁性ナノカーボンチューブの新規ドラッグデリバリー（薬物送達）システムや生体分子のマニピュレーション等の医学研究への応用について検討する最初の会となりました．その後，10月19日に総合医療センターにて，神経内科学教室にて簡単な説明会も開かれ，現在，培養細胞，抗原を結合した単体等を材料とした検討が，共同利用施設と保健医療学部を中心として検討が進められており，成果が上がれば再度合同セミナーを開催できるものと思われる．